

情報活用能力 一覧表

発達段階	小学校（低学年）	小学校（中学年）	小学校（高学年）	中学校	高等学校	
情報活用能力	課題の設定	問題解決における情報の大切さを理解する	目的を意識して情報活用の見通しを立てる手順を理解する	問題解決のための情報及び情報技術の活用の計画を立てる手順を理解する	条件を踏まえて情報及び情報技術の活用の計画を立てる手順を理解する	モデル化やシミュレーションの結果を踏まえて情報を活用する計画を立てる手順を理解する
		問題解決における情報の大切さを意識して行動する	目的に応じて情報の活用の見通しを立てようとする	複数の視点を想定して計画しようとする	条件を踏まえて情報及び情報技術の活用の計画を立て、試行しようとする	条件を踏まえて情報及び情報技術の活用の計画を立て、試行しようとする「ステップ4と同じ」
	情報の収集	身近なところから様々な情報を収集する方法を理解する	調査や資料等による基本的な情報の収集の方法を理解する	調査や実験・観察等による情報の収集と検証の方法を理解する	情報通信ネットワークなどからの効果的な情報の検索と検証の方法を理解する	情報通信ネットワークから得られた情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方を理解する
		事象と関係する情報を見つけようとする	情報同士のつながりを見つけようとする	情報を構造的に理解しようとする	調査の設計方法を理解する	統計的な調査の設計方法を理解する
	整理・分析	身近なところから課題に関する様々な情報を収集し、簡単な絵や図、表やグラフなどを用いて、情報を整理する	調査や資料等から情報を収集し、情報同士のつながりを見つけたり、観点を決めた簡易な表やグラフ等や習得した「考えるための技法」を用いて情報を整理する	目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を組み合わせながら情報収集し、目的に応じた表やグラフ、「考えるための技法」を適切に選択・活用し、情報を整理する	調査を設計し、情報メディアの特性を踏まえて、効果的に情報検索・検証し、目的や状況に応じて統計的に整理したり、「考えるための技法」を組み合わせて活用したりして整理する	分析の目的等を踏まえて調査を設計し、効果的に情報検索・検証し、目的や状況に応じて統計的に整理したり、「考えるための技法」を自在に活用したりして整理する
		共通と相違、順序などの情報と情報との関係を理解する	考えと理由、全体と中心などの情報と情報との関係を理解する	原因と結果など情報と情報との関係を理解する	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係を理解する	主張と論拠、主張とその前提や反証、個別と一般化などの情報と情報の関係を理解する
		簡単な絵や図、表やグラフを用いた情報の整理の方法を理解する	観点を決めた表やグラフを用いた情報の整理の方法を理解する	目的に応じた表やグラフを用いた情報の整理の方法を理解する	表やグラフを用いた統計的な情報の整理の方法を理解する	統計指標、回帰、検定などを用いた統計的な情報の整理・分析の方法を理解する
		情報の大体を捉える方法を理解する	情報の特徴、傾向、変化を捉える方法を理解する	複数の観点から情報の傾向と変化を捉える方法を理解する	目的に応じて情報の傾向と変化を捉える方法を理解する	目的に応じ、統計を用いて客観的に情報の傾向と変化を捉える方法を理解する
		情報の大体を捉え、分解・整理し、自分の言葉でまとめる	情報を抽象化するなどして全体的な特徴や要点を捉え、新たな考えや意味を見出す	情報の傾向と変化を捉え、類似点や規則性を見つけ他との転用や応用を意識しながら問題に対する解決策を考察する	目的に応じ、情報と情報技術を活用して、情報の傾向と変化を捉え、問題に対する多様な解決策を明らかにする	目的に応じ情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して、モデル化やシミュレーション等を行いながら、情報の傾向と変化を捉え、多様な立場を想定し、問題に対する多様な解決策を明らかにする
		情報を複数の視点から捉えようとする	新たな視点を受け入れて検討しようとする	物事を批判的に考察しようとする		
まとめ・表現	情報を組み合わせて表現する方法を理解する	自他の情報を組み合わせて表現する方法を理解する	複数の表現手段を組み合わせて表現する方法を理解する	情報を統合して表現する方法を理解する	情報を階層化して表現する方法を理解する	
	相手に伝わりやすいプレゼンテーションの方法を理解する	相手や目的を意識したプレゼンテーションの方法を理解する	聞き手とのやりとりを含む効果的なプレゼンテーション方法を理解する	Web ページ、SNS 等による発信・交流の方法を理解する	Web ページ、SNS、ライブ配信等の発信・交流の方法を理解する	
	相手を意識し、わかりやすく表現する	表現方法を相手に合わせて選択し、相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせて適切に表現する	目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせて表現し、聞き手とのやり取りを含めて効果的に表現する	目的や意図に応じて情報を統合して表現し、プレゼンテーション、Web ページ、SNS などやプログラミングによって表現・発信、創造する	メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、目的や受け手の状況に応じて適切で効果的な組み合わせを選択・統合し、プレゼンテーション、Web ページ、SNS などやプログラミングによって表現・発信、創造する	
				安全・適切なプログラムによる表現・発信の方法を理解する	安全・適切なプログラムによる表現・発信の方法を理解する「ステップ4と同じ」	
			情報を創造しようとする	情報及び情報技術を創造しようとする	情報及び情報技術を創造しようとする「ステップ4と同じ」	
	問題解決における情報の大切さを意識しながら情報活用を振り返り、良さに気づくことができる	自らの情報の活用を振り返り、手順の組み合わせをどのように改善していけばよいかを考える	情報及び情報技術の活用を振り返り、改善点を論理的に考える	情報及び情報技術の活用を効率化の視点から評価し、意図する活動を実現するために手順の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのかを論理的に考える	情報及び情報技術の活用を多様な視点から評価し、意図する活動を実現するために手順の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのかをオンラインコミュニティ等を活用しながら、論理的・協動的に考える	
	情報の活用を振り返り、良さを確かめることを理解する	情報の活用を振り返り、改善点を見出す手順を理解する	情報及び情報技術の活用を振り返り、効果や改善点を見出す手順を理解する	情報及び情報技術の活用を効率化の視点から評価し改善する手順を理解する	情報及び情報技術の活用を多様な視点から評価し改善する手順を理解する	
	情報の活用を振り返り、良さを見つけようとする	情報の活用を振り返り、改善点を見出そうとする	情報及び情報技術の活用を振り返り、効果や改善点を見出そうとする	情報及び情報技術の活用を効率化の視点から評価し改善しようとする	情報及び情報技術の活用を多様な視点から評価し改善しようとする	
ツール 思考	付箋・カード（カード化／順位付け／グルーピング） Yチャート ウェビングマップ 等	二次元表（マトリックス） 座標軸 等	ベン図 等	フローチャート マンダラート 樹形図 四分分割表 アクティビティ図 リンクマップ ダブルイメージマップ チャート 等	概念図・モデル図 KJ法 マインドマップ ロジックツリー ガントチャート コンセプトマップ 等	
情報手段の基本的な操作	○PCの起動・終了 ○印刷 ○入力インターフェースの操作（クリック、Wクリック等またはタップ、スライド等） ○書画カメラによる拡大・縮小表示 ○お絵かきソフト（ペイント系ソフト等）による描画、色付け ○図形の描画					
	○ファイルの保存 ○クラウドへの保存		○フォルダにまとめるなどのファイルの整理			
	○ファイルを開く					
	○文字の入力、文章の入力・編集 ○タッチタイピングの基本位置（ホームポジション） ○ショートカットキーの活用 ○文字を正確に入力することができる		○文書作成ソフトによるパンフレット等の作成			
	○インターネットによる検索（単語、キーワード） ○インターネットによる検索（AND、ORなどを用いた検索） ○電子メールの送受信		○5分で40文字程度を入力することができる ○10分で200文字程度を入力することができる ○10分で300文字程度を入力することができる			
	○写真の撮影（デジカメ、タブレット端末のカメラ等）		○写真データの加工 ○写真データの取り込み		○動画の編集	
○写真や画像の文書等への挿入 ○プレゼンソフトの活用（写真） ○プレゼンソフト（グラフ）の活用 ○プレゼンソフト（アニメーション）の活用 ○プレゼンソフトの活用（文字） ○プレゼンソフト（ハイパーリンク）の活用		○表計算ソフトの活用（簡単な計算） ○表計算ソフトの活用（簡単な関数による計算）				

※ 発達段階は、修了段階を想定しています。